



2008年12月19日

各 位

会 社 名 第 一 三 共 株 式 会 社
代 表 者 代表取締役社長 庄田 隆
(コード番号 4568 東証・大証・名証各第1部)
問合せ先 コーポレートコミュニケーション部長 斎 寿明
(TEL : 03-6225-1126)

第一三共、ランバクシー・ラボラトリーズとの協働体制を本格始動

本日、第一三共株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：庄田隆、以下「第一三共」）の連結子会社であるランバクシー・ラボラトリーズ社（本社：インド共和国デリー市、マルビンダー・モハン・シン代表取締役、以下「ランバクシー」）は、取締役会において新役員人事を決定致しました。

現職のマルビンダー・モハン・シンが常勤取締役会長兼 CEO として再選されました。同氏は第一三共の「シニア・グローバル・マネージメント」の一員として、第一三共グループの経営にも参画します。新役員人事では、第一三共から非常勤取締役として、庄田隆（第一三共代表取締役社長兼 CEO）、采孟（第一三共取締役専務執行役員）が選任されました。（別添、新役員人事参照）新しい役員は、各人の、専門分野でのランバクシーおよび第一三共グループへの貢献を重視し、選ばれました。新体制により、ランバクシーと第一三共グループのガバナンスが一体化されると共に、ランバクシーの事業展開のオペレーションの独立性は維持されます。

この取締役会による新経営体制の決定により、ランバクシーは第一三共グループの一員としての企業活動を本格的に開始します。

本年6月、第一三共は、先進国および新興国におけるマーケットの拡大と、医療ニーズの多様化が進展する2015年以降の医薬品市場を見据えて、インドのNo.1製薬企業であるランバクシーをグループの一員に迎える決定を致しました。

世界49カ国に事業展開し、特に、新興国において圧倒的な販売網と高いマーケティング能力を誇るランバクシーは、新興国マーケットへのゲートウェイとして、第一三共グループ

に新たな販路拡大のチャンスをもたらすとともに、ランバクシーのオペレーションの独立性が維持されることにより、多様な新興国のニーズへの機動的な対応を可能とします。また、両社には、事業展開上、重複する点が少ないという利点があります。

両社の理想的な補完関係は、先進国・新興国双方の需要への対応、また、イノベーター（特許で保護された製品）・ロングセラー（特許が満了した製品）双方の共有というハイブリッドビジネスモデル「複眼経営」を構築し、次世代の医薬品市場を牽引するグローバル・ファーマ・イノベーターとして、革新的医薬品の永続的な創出、提供を続け、世界中の人々の健康で豊かな生活に貢献するという第一三共グループの企業理念を実現するものです。

以上

(別添)

【ランバクシー・ラボラトリーズ社 新役員人事】

任期： 2008 年 12 月 19 日～2009 年定時株主総会まで

役職	氏名	現職
常勤取締役 会長兼 CEO	マルビンダー・モハン・シン	CEO and Managing Director, Ranbaxy Laboratories Ltd.
常勤取締役 COO	アツル・ソブティ	COO, Ranbaxy Laboratories Ltd.
非常勤取締役	庄田 隆(しょうだ たかし)	第一三共株式会社代表取締役 社長兼 CEO
非常勤取締役	采 孟(うね つとむ)	第一三共株式会社取締役専務 執行役員
非常勤取締役	スニル・ゴドワニ	CEO and Managing Director, Religare Enterprises Ltd.
社外取締役	アンソニー・ワイルド	General Partner, BOWS Pharmaceuticals AG
社外取締役	ラジェシュ・シャー	Co-Chairman and Managing Director, Mukand Ltd.
社外取締役	渡辺 章博 (わたなべ あきひろ)	GCA サヴィアングループ代表 取締役 CEO
社外取締役	バリンダー・シン・ディロン	弁護士